



十人十色の門松が完成。自宅に飾るのが楽しみです。

自作の門松で正月を迎えよう！

寄せ植えで作るミニ門松

12月26日(火)、女性センターでミニ門松作りが開かれました。講師の中野美恵子氏に作り方の説明を受けた21人の参加者は、プランターに土を入れるところから取り組み、それぞれの個性を出したオリジナルの門松を作りました。

参加者からは「どんな門松になるか想像して、楽しみながら作ることができた。自分で作った門松を自宅に飾ることですらいつもと違う気分が正月を迎えられそう」といった声が聞かれました。



マルシェでは新鮮な野菜が格安で販売されました。

じわもん野菜をPR！

ののいち冬の根菜三兄弟フェア

12月23日(土・祝)、学びの杜ののいち カレードにて、市観光物産協会による野々市の冬の根菜だいこん・かぶ・ヤーコンを使用した料理教室と、地元農家による朝どれ野菜・加工品のマルシェが開催されました。

菊地代緒恵氏の料理教室には市内を中心に23人が参加し、「ヤーコンを初めて料理したが甘味や食感が良かった」「家でも色々な料理を試してみたい」と好評でした。マルシェでは生産者と消費者の間に笑顔が生まれ、和やかな雰囲気の中でにぎわいを見せていました。



用意された品物が完売するほどの大盛況でした。

ヤーコンを通じて街道のにぎわいを

北国街道ヤーコン CAFE

1月13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)の4日間、六日町かふえにて『北国街道ヤーコン CAFE』が開かれました。このイベントは金沢工業大学ヤーコンプロジェクトと市による提案型協働事業で、北国街道のにぎわい創出を目指して実施。生のヤーコンや加工品が店頭に並び、学生計11人が交代で販売しました。2年生の田口陽大さんは「のぼり旗はメンバーみんなでデザインした。皆さんにヤーコンのことをもっと知ってもらい、地域に根付く野菜になればと思う」と話しました。



のっぴがデザインされたかわいいパッケージにも注目です。

野々市の新たな特産品に

堅焼きビスケット「ののこっつい」

市商工会女性部は、野々市産の米粉を使ったビスケット「ののこっつい」を菓子工房エクラタンと共同で開発しました。米粉とアーモンドの香ばしさが広がるプレーン味に加え、2月1日から3月31日までの期間限定で3種類のチョコレート味も販売されます。市商工会女性部長の田中陽子氏は「野々市のお土産といえばこれ！と言われるようにしたい」と意気込みを語りました。ののこっついには菓子工房エクラタンで購入できるほか、市商工会でも注文することができます。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
秘書広報課 ☎227-6056

カレードでクリスマス♪

提案型協働事業『CoCoARC』

12月17日(日)、学びの杜ののいちカレードにて『CoCoARC』が開催されました。ママココ実行委員会が企画し、提案型協働事業に採択されたこの事業は、「ここ (CoCo) ちよく、つながろう」をテーマに、子どもを真ん中に地域のひとと人をつなぐ「架け橋 (ARC)」となることを目指して実施。カレード全体が会場となり、スタジオやギャラリーでさまざまなワークショップや催しが開かれました。当日は雪の降り積もる中にもかかわらず、親子連れをはじめ多くの方が来場。デコレーションケーキやミニクリスマスツリーなどを作ったり、紙芝居を楽しんだり、笑顔いっぱいのイベントとなりました。



1. ワークショップで手作り体験 2. 劇団nonoも登場。会場からは大きな拍手
3. たくさんの風船に子どもたちは大はしゃぎ 4. シフォンケーキがツリーや雪だるまに！
5. 市内のお店が多数出店 6. こども服無料交換CURU∞CURU
7. おしゃれな写真スポットで記念撮影 8. パオの中で紙芝居の読み聞かせ

今回は書道に挑戦！

外国人のための日本語教室 in ののいち

情報交流館カメラアで12月20日(水)、外国人向け書道体験教室が開催されました。この教室では、地域に住む外国人住民と日本語サポーターが、交流しながら日本語を勉強しています。今回はアメリカ、中国、フィリピン出身の計9人が参加。「和」「心」などの漢字や、自身の子どもの名前などを書きました。フィリピン出身のエリックさんは「初めて書道に挑戦してとても楽しかった。最初は難しかったけど、練習すればうまく書けるようになりました」と笑顔で話していました。



最後は好きな字を色紙に書き、記念に持ち帰りました。

地域をつなぐ思いやりの気持ち

歳末たすけあい運動慰問

市社会福祉協議会は「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに今年も歳末たすけあい運動を行いました。皆さんの善意で集められた募金の中から約580万円が、施設入所者や高齢者、障害者などの支援を必要とする約1,440人に届けられました。

特別養護老人ホーム富樫苑など54カ所では12月22日(金)に慰問が行われ、民生委員・児童委員が一人一人に「元気でいてくださいね」などと丁寧に声を掛けながら慰問金を手渡していました。



やさしい気持ちで、こころがポカポカになります。